

SAC報告

すばる小委員長 吉田道利

SAC Chair: Michitoshi Yoshida

旧SAC委員(2010/7～2012/6)

- 委員長 有本信雄(～2012/3)→ 吉田道利(2012/4～)
- 副委員長 吉田道利
- 内部委員
青木和光、田村元秀、臼田知史、高遠徳尚
中村文隆
- 外部委員
秋山正幸、高田昌広、本原顕太郎、松原英雄
菅井肇、岡本美子、太田耕治
- オブザーバー
柏川伸成(TAC委員長)
- Ex-officio(ハワイ観測所長)
高見英樹(～2012/3) → 有本信雄(2012/4～)

SAC委員(2012/7～)

- 委員長 吉田道利
- 副委員長 青木和光
- 内部委員
田村元秀、臼田知史、高遠徳尚、中村文隆
大橋永芳
- 外部委員
秋山正幸、岩室史英、高田昌広、深川美里
本原顕太郎、片坐宏一、嶋作一大
- オブザーバー
柏川伸成(TAC委員長)
- Ex-officio(ハワイ観測所長)
有本信雄

	所長報告	すばる運用	UM,シンポジウム等	光赤外専門委員会、SAC内部	国際協力	その他
SAC19 2012 3/13	・はやぶさ2について	・データアーカイヴ勉強会(講師:安田直樹氏、SDSSのデータアーカイヴについて)	・第2回すばる望遠鏡公開講演会 開催報告	・SAC提言書、TMTとの連携に関する素案の検討 ・SAC改選について	・GeminiとのMOU ・KASIとの連携について	・PFSの概念設計審査について
SAC20 2012 4/17	・はやぶさ2について	・HSC用の新主焦点ユニットの不具合から、5/19～6/11のダウンタイムキャンセル。追加公募 ・SEEDS中間審査報告 ・HSCのデータベースの方針について(宮崎氏) ・FMOS戦略枠審査(ヒヤリング+審査) ・LGS-AOのGT観測承認			・GeminiとのMOU最終稿の紹介 ・マウナケア全体のUMを10/4-5にハワイ観測所で開催する。	

	所長報告	すばる運用	UM,シンポジウム等	光赤外専門委員会、SAC内部	国際協力	その他
SAC21 2012/5/15	・ハワイ観測所の現状と今後の体制について	・追加公募報告(TAC委員長) ・HSCの進捗状況報告とHSC共同利用、戦略枠公募の議論。 ・時間交換枠と一般共同利用外国人枠について	・IAS-Subaru国際会議準備状況報告	・SAC報告書の原稿確認	・KASI(韓国)との連携 ・Geminiサイエンス・ミーティング	
SAC22 2012/6/19	・S-Cam、FOCASの再開について。 HSCはS13Bから公開予定。 ・Euclidからの提案について	・HSC戦略枠公募について。2012年10月31日を公募締切とし、7月末に公募要項を出す。	・UMについて ・Euclidからの提案を検討する研究会 ・光天連シンポジウムについて ・IAS-Subaru国際会議のプログラム紹介	・次期SAC委員候補について ・SAC報告書について ・次回開催は8月か9月に。	・Euclid(ESAの中型衛星計画)からの提案について	・すばる春の学校の開催報告

	所長報告	すばる運用	UM,シンポジウム等	光赤外専門委員会、SAC内部	国際協力	その他
SAC1 2012 8/22	・すばるの中・長期計画に関わる所長試案の提示	・HSC戦略枠の今後の審査スケジュール ・次期装置計画について	・すばるUMの開催日 ・Euclid参加の研究会について。	・委員長、副委員長互選 ・今期のSACの課題について	・GeminiとのMOUについて ・Geminiサイエンス・ミーティング参加報告	
SAC2 2012 10/16	・HSC進捗報告 ・マウナケア所長会議・UM報告	・次世代装置の観測所案(近赤外線広視野撮像・多天体分光＋GLAO)について(岩田氏)。 ・HSC狭帯域フィルター申請4枚の承認 ・HSC戦略枠の予備審査を担当する有識者の選任	・UM世話人の決定、議論の大枠の決定 ・HSC研究会でEuclidについて出た意見の紹介	・前期SAC提言書の英語版の確認依頼	・Keckサイエンスミーティング参加報告	

	所長報告	すばる運用	UM,シンポジウム 等	光赤外専門委員 会、SAC内部	国際協力	その他
SAC3 2012 11/20	・Gemini/ Keckとの時 間交換の 採択夜数に アンバラン スについて。	・HSC戦略枠の開始 時期に関する議論 ・TAC報告 ・HSCフィルターの受 け入れポリシーに関 する検討依頼=>継続 審議		・日韓合同 WS報告	・Geminiとの MOU	
SAC4 2012 12/25	・TUEの修 復が完了し、 S-Cam観 測を再開し た。	・HSCのデータ解析に ついて。 ・HSC戦略枠一次審 査報告 ・HSC公開のタイミン グに関する議論			・中国から LAMOST- Subaruのミ ニWSの提案 ・3月末に ngCFHTの 国際会議。 ・マウナケア 装置開発WS	

戦略枠関連

- SEEDS中間審査 → 継続を承認
- FastSound審査 → 正式採択を決定
- HSC戦略枠
 - 2012/10/31 〆切で公募
 - 1件応募 PI:宮崎聡
 - 第一次審査(国内有識者によるレビューに基づくSACでの審査) → 合格
 - 現在、第二次審査(外部レフリーによる審査)中
 - プロポーザルは公開 → 積極的な参加を

戦略枠の制限

- 5年間 総夜数300夜 まで
- 年間 60夜まで（セメスター当たり30夜～25%まで）

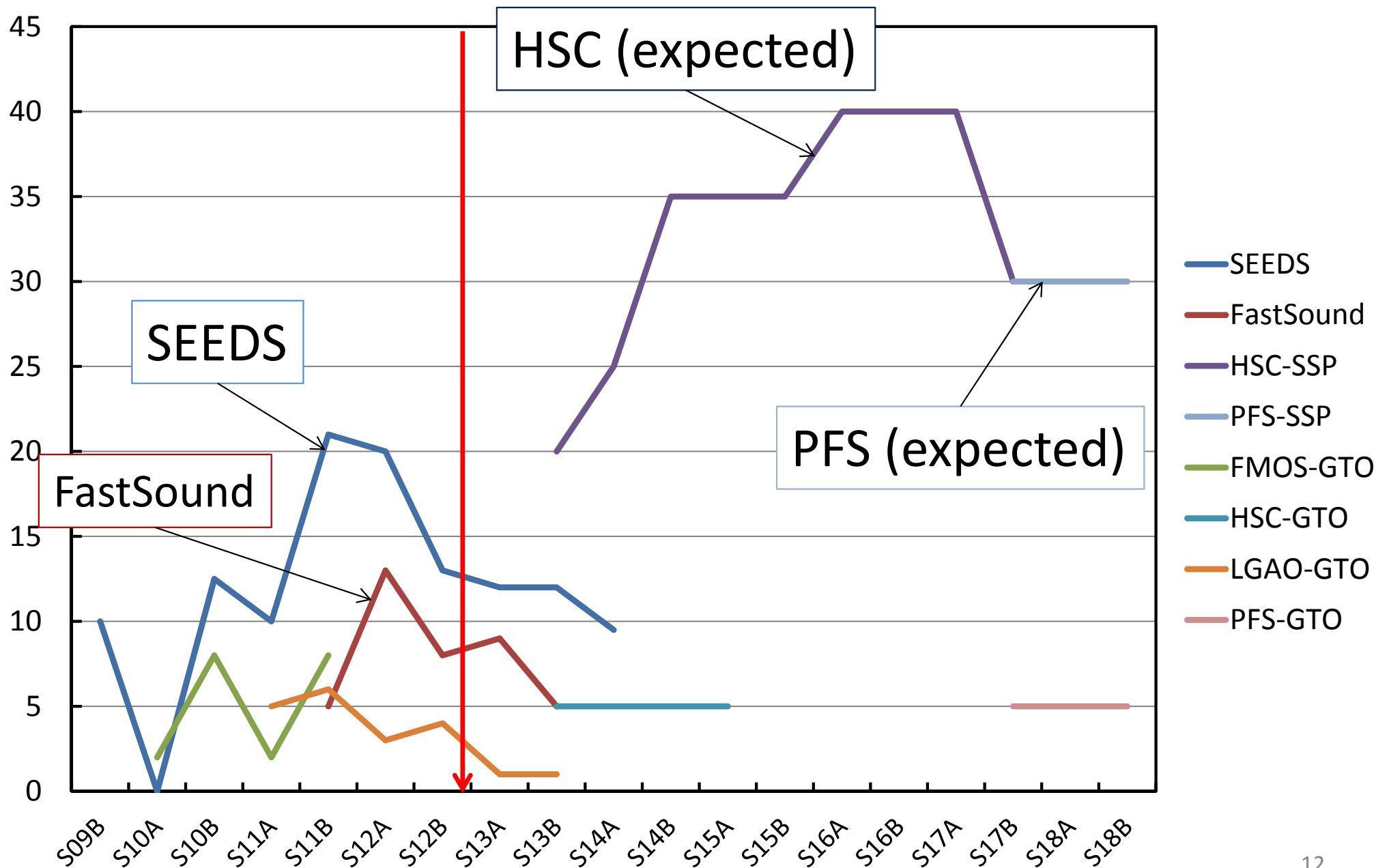
戦略枠の審査

- 第1段階:
 - 有識者による書類審査→最大2課題
- 第2段階:
 - 科学的観点から外部レフェリーおよびプログラム小委員会による評価を行う。
 - 第1段階で仮採択された課題の研究代表者は、開かれた組織作りとハワイ観測所における体制作りを推進し、すばる小委員会において報告する。
- 第3段階:
 - 科学的観点からの評価を主とし、これに加えて、開かれた組織作りとハワイ観測所における体制作りが達成されているかを評価した上で、すばる小委員会の責任のもとに、最大1件の採択課題を決定する。
- 第4段階:
 - より詳細な観測内容と課題実行チームの組織および実行体制を含む最終的な提案書をすばる小委員会に提出し、すばる小委員会が実行開始の最終判断を行う。

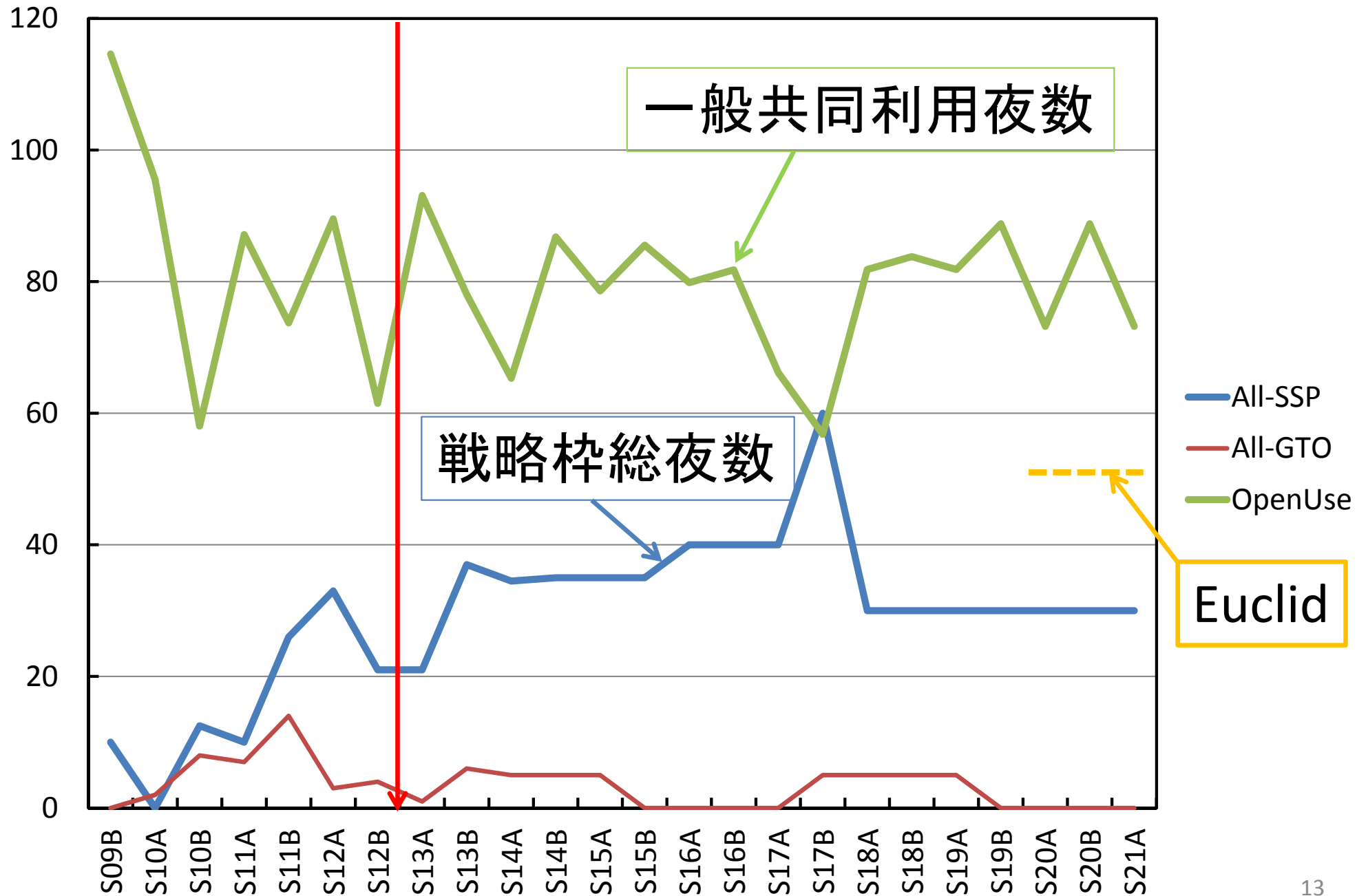
共同利用・運用関連（除戦略枠）

- ダウンタイムキャンセルに伴う追加公募
 - S12A 2012/5/19～6/11の補填
- 外国人時間枠と時間交換枠の関係について
 - Gemini/Keckコミュニティの研究者が時間交換枠に応募せずに一般共同利用に応募してくる状況について
 - 「Gemini/Keckコミュニティに属する研究者は時間交換枠に応募することを推奨する」と公募要項に記載し、外国人提案の採択は10%程度とする。
 - 審査で同点になった場合はG/Kコミュニティから一般枠に出された提案は下げる。
- 次世代装置（近赤外線広視野撮像・多天体分光＋GLAO)について
- HSCのデータ解析、データアーカイブについて

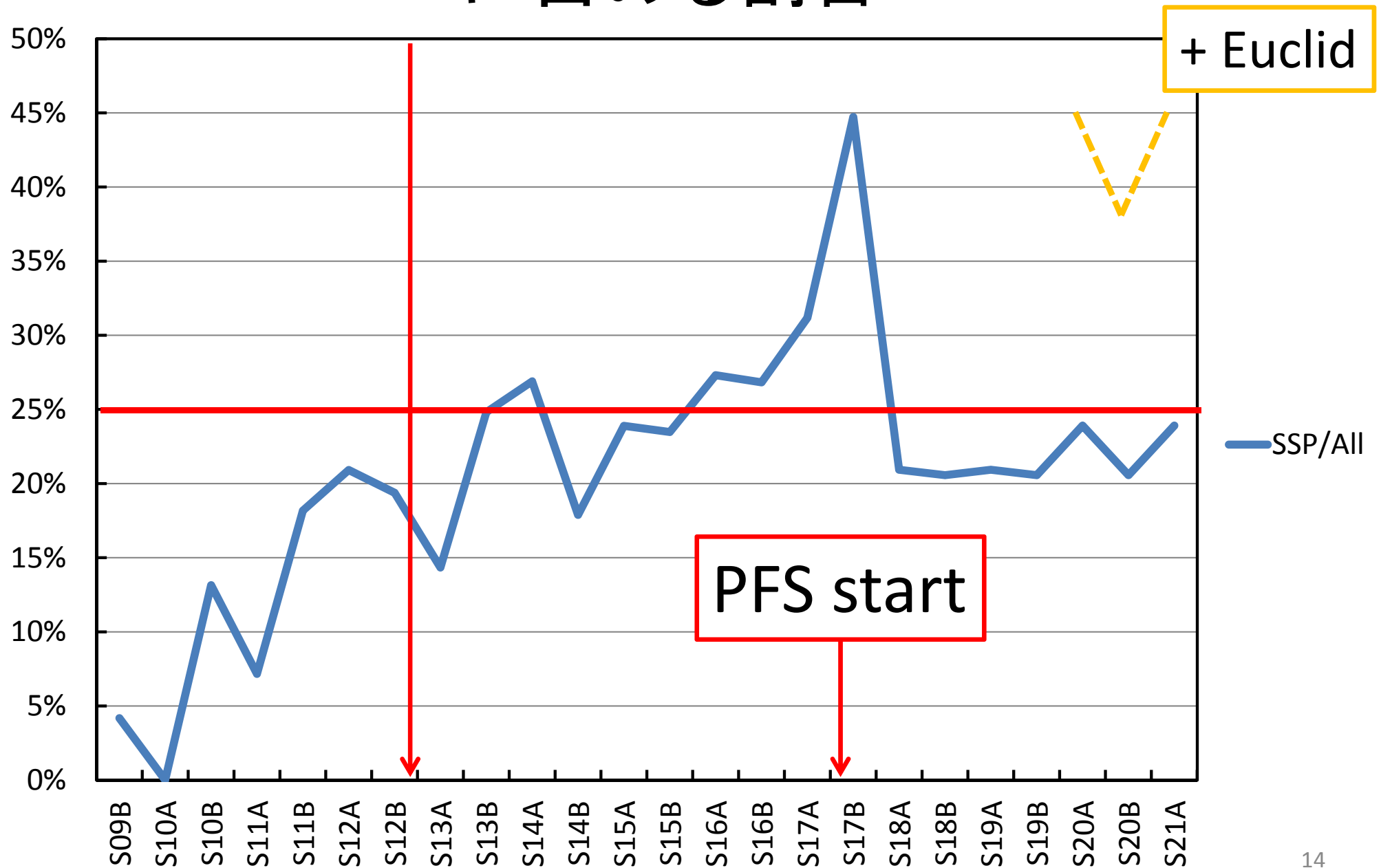
戦略枠プロジェクトの夜数



戦略枠プロジェクトの総夜数



戦略枠の全共同利用夜数(UH除く) に占める割合



SAC提言書(2012/6)

「2020年代に向けたすばるの戦略」

- 前期SACによる提言書

- http://subarutelescope.org/Science/SACM/sacreport/SAC_teigen_2012.pdf
- すばるホームページ→「研究者向け」→SAC minutes

- ハワイ観測に宛てて書かれている。

- 目次

- ★序論 今後10年のすばる

- 1 ALMA との連携

- 2 SPICA との連携

- 3 TMT との連携

- 4 HSC 及びPFS の開発

- 5 次世代広視野補償光学系と赤外線装置

- 6 他の望遠鏡との時間交換・協力

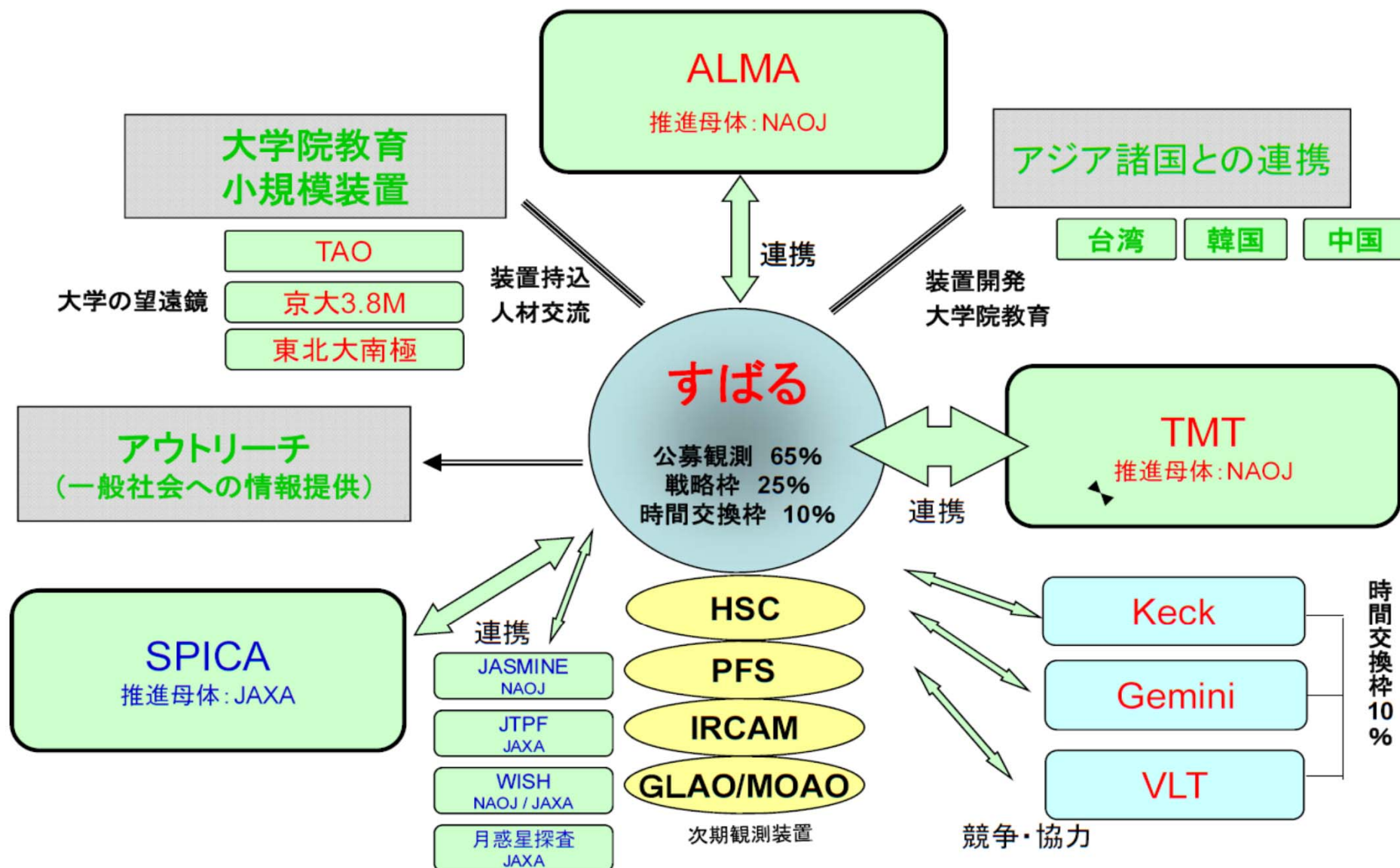
- 7 大学院教育・大学の装置

- 8 アウトリーチ

- 9 アジア諸国との連携

--2020年へのすばるの戦略 “天・地・人”--

すばる小委員会



その他

- Euclid計画からのオファーについて
 - Euclid: ESAによる広視野宇宙望遠鏡を用いた宇宙論的サーベイ計画。2020年打ち上げ予定。
 - HSC・200夜程度を使ってphoto-zのためのデータを得たい
 - 見返りは20～30人程度の日本人研究者のEuclid計画への正式参加
 - SAC主導でコミュニティの意見をまとめる → 2013年1月10日にサイエンス検討研究会
- GeminiとのMoU

今後の予定

- HSC戦略枠の審査
 - 3月：第三段階審査、4月：最終審査
- Euclid提案の検討継続
 - 6月までに一定の回答を台長に伝える
 - Yanick Mellier氏との会談
- マウナケア装置開発WSのプロモート
- 次期赤外観測装置＋GLAOの検討
 - ワークショップ開催？
- アジアとの連携推進
- すばる望遠鏡運用体制の監視